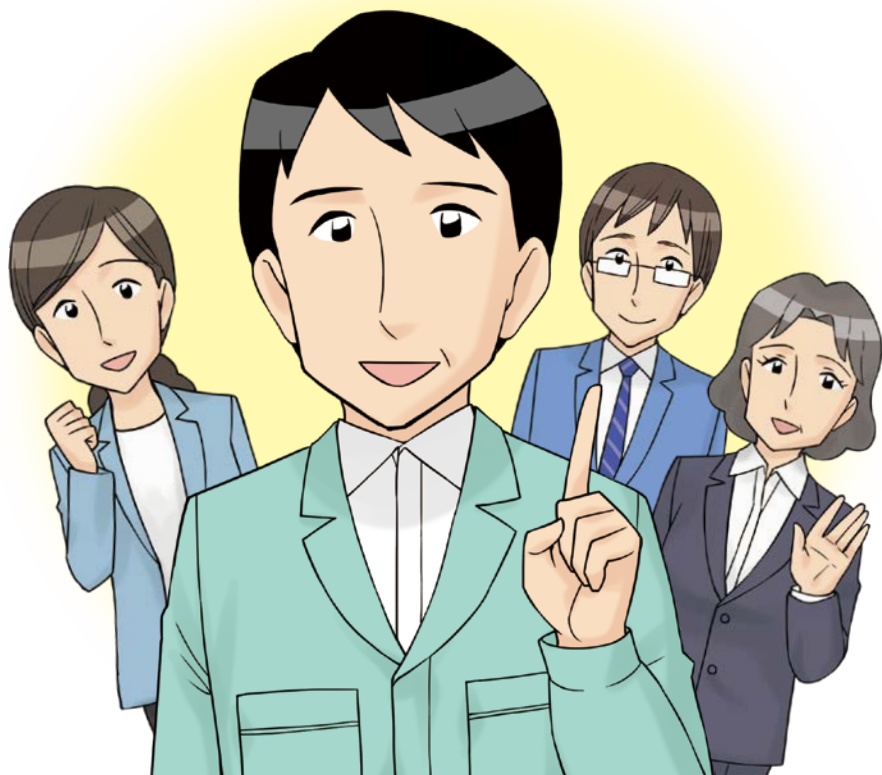


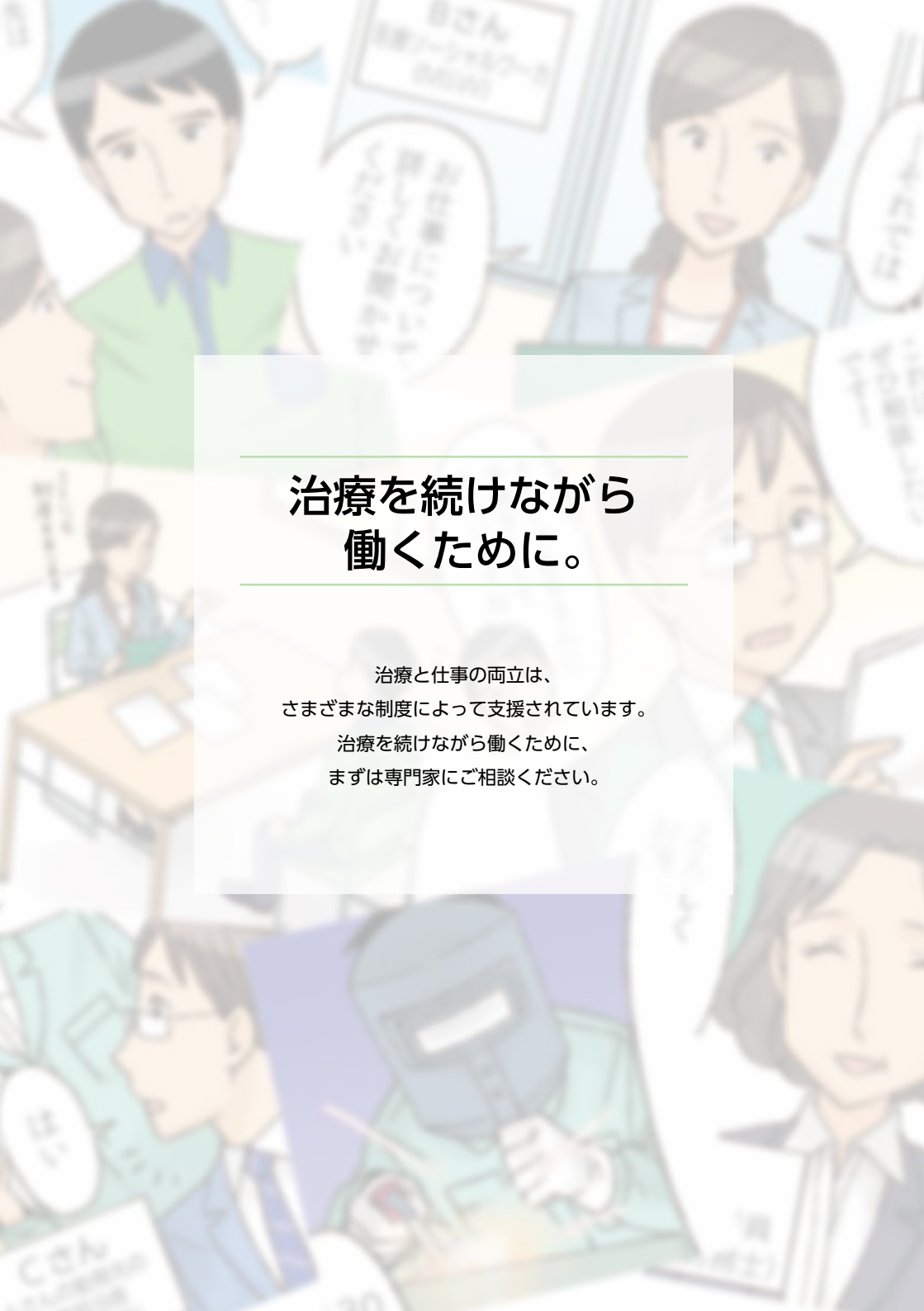
中小企業における

治療と仕事の

# 両立支援のススメ



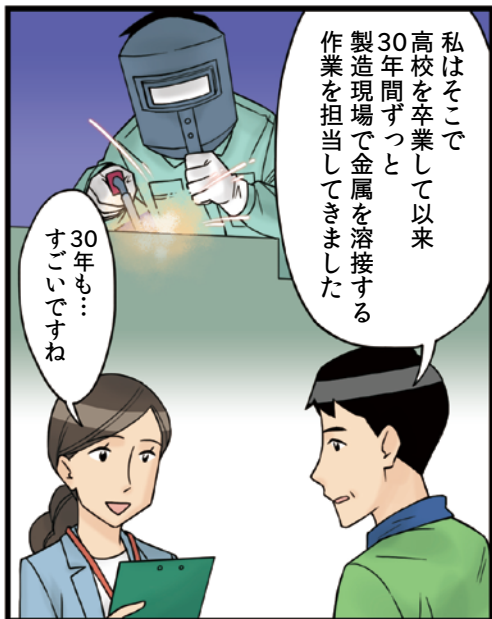
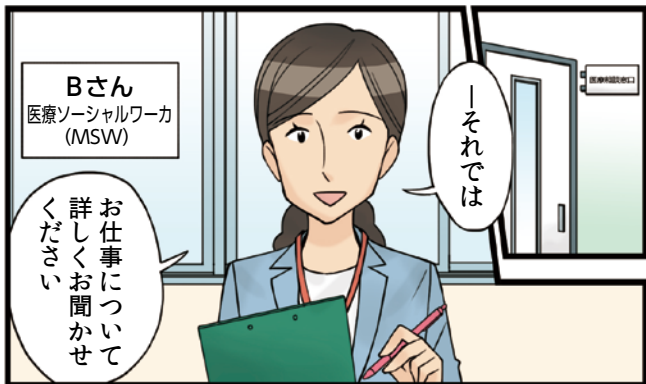
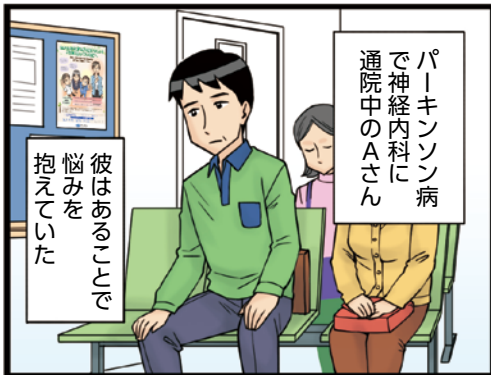
本書の作成は、平成29年度厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金「治療と就労の両立支援のための事業場内外の産業保健スタッフと医療機関の連携モデルとその活動評価指標の開発に関する研究」(研究代表者：堤明純)の助成によって行われた。



## 治療を続けながら 働くために。

治療と仕事の両立は、  
さまざまな制度によって支援されています。

治療を続けながら働くために、  
まずは専門家にご相談ください。





10年前に  
パーキンソン病と  
診断されたのですが

幸い治療が  
功を奏しまして  
これまで特に  
大きな問題もなく  
仕事を続けて  
来ました

ええ…



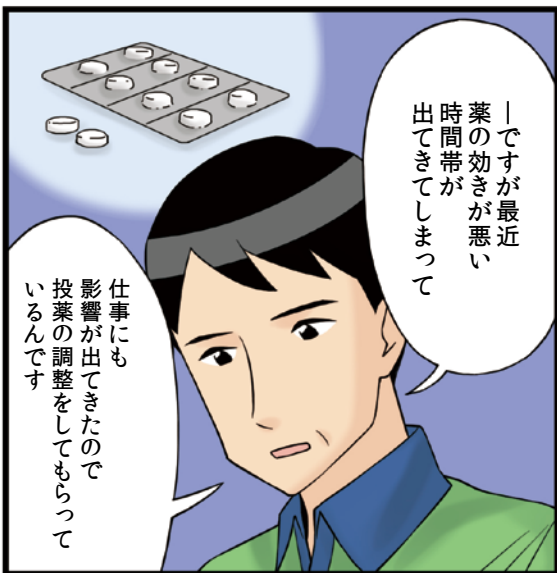
悪心

吐き気・嘔吐

食欲不振

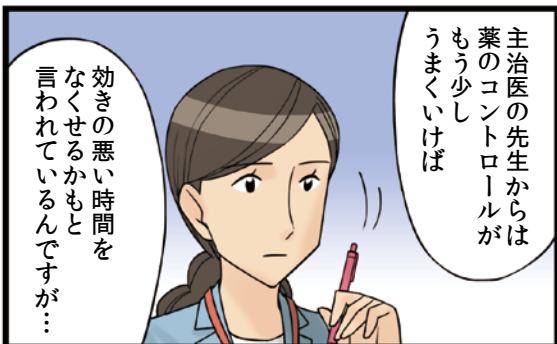
副作用も  
出てきてるので  
正直これから先  
仕事を続けられるのか  
不安で…

…そうでしたか



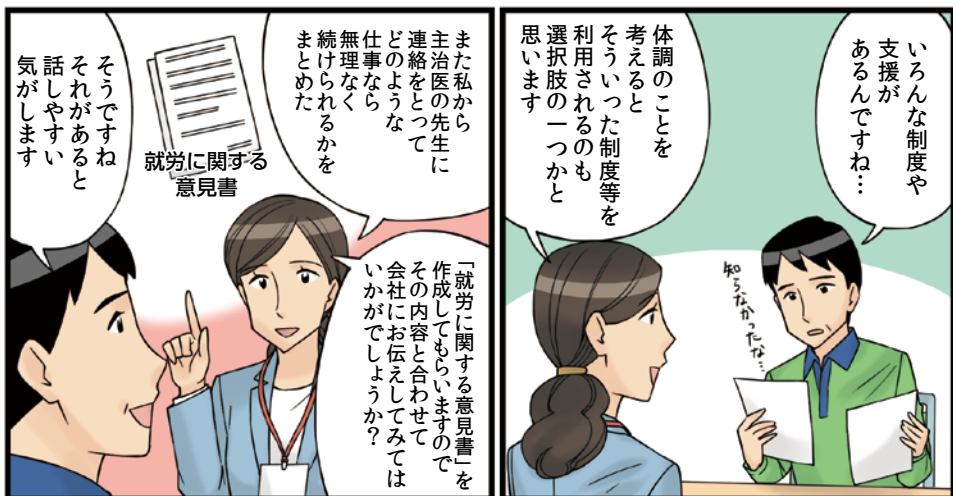
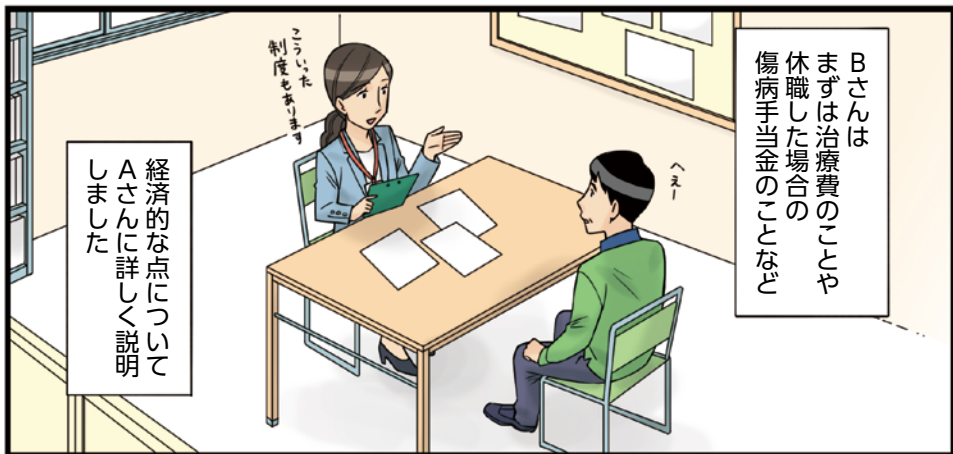
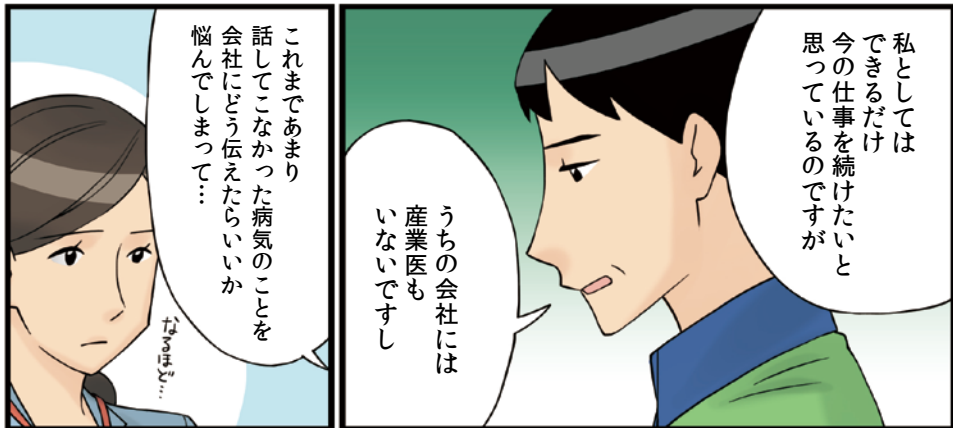
—ですが最近  
薬の効きが悪い  
時間帯が  
出てきてしまっ

仕事にも  
影響が出てきたので  
投薬の調整をしてもらって  
いるんです

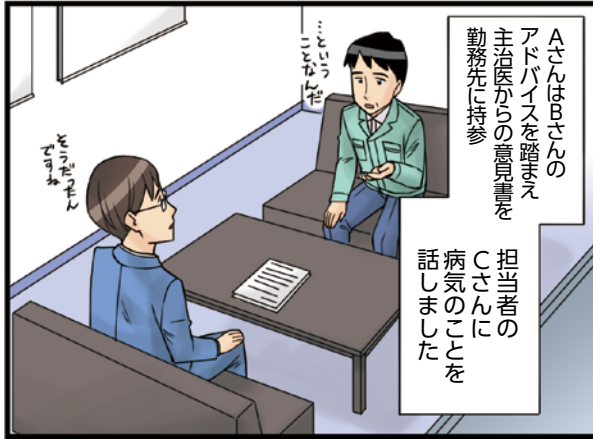


主治医の先生からは  
薬のコントロールが  
もう少し  
うまくいけば

効きの悪い時間を  
なくせるかもと  
言われているんですが…







AさんはBさんの  
アドバイスを踏まえ  
主治医からの意見書を  
勤務先に持参

担当者の  
Cさんに  
病気のことを  
話しました

どうしたらいい  
かな

……どう  
かな

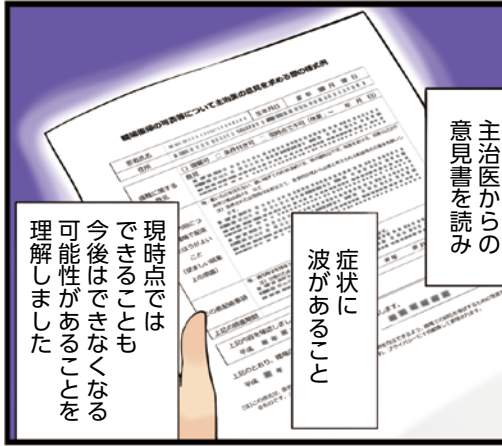


後日

Cさん  
ちよつと  
いいです  
か？

はい

Cさん  
Aさんの勤務先の  
人事担当者  
(衛生管理者)



主治医からの  
意見書を読み

症状に  
波があること

現時点では  
できることも  
今後ではなくなる  
可能性があることを  
理解しました



最初Cさんは  
初めて聞いた  
病名で戸惑って  
いましたが

パキンソノ病…



ただ

Cさんは職場として  
どのように  
対応したらいいか  
分からず

不安を覚えた  
様子でした



よろしく  
頼みます

分かりました…  
ちよつとこちらで  
検討してみますね



数日後  
Aさんは再び  
相談窓口を訪れ

医療相談窓口

こんにちはー

BさんにCさんの  
様子について  
話しました

Aさん  
その後会社の対応は  
どうですか？



病気については  
理解してくれた  
ようなのですが

会社としても  
前例の無い  
ことなので  
対応に困っている  
様子でした

そうですか…

確かに…初めてのことでと  
何から始めればいいのか  
分からないかもしれませんね



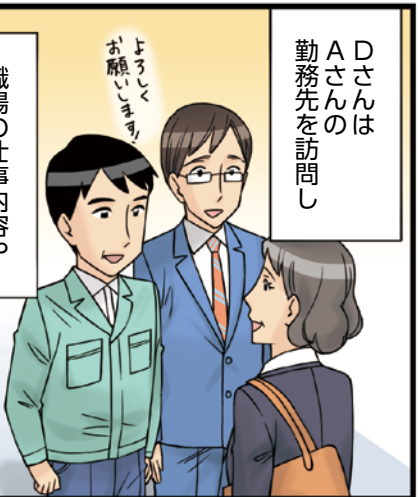
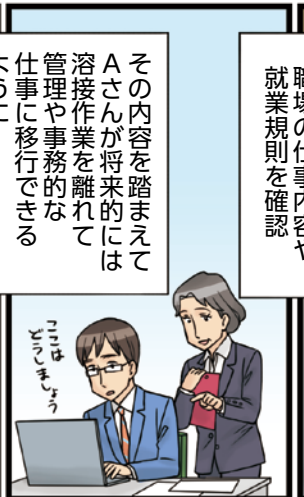
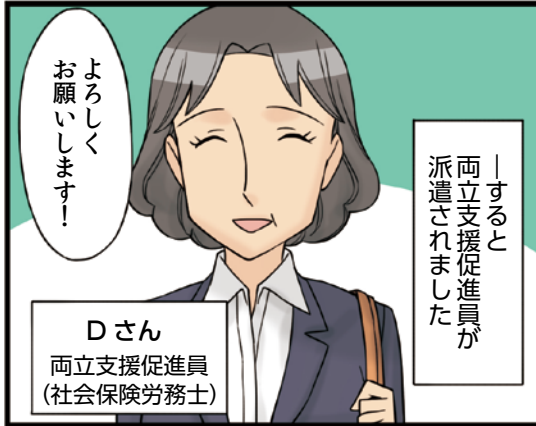
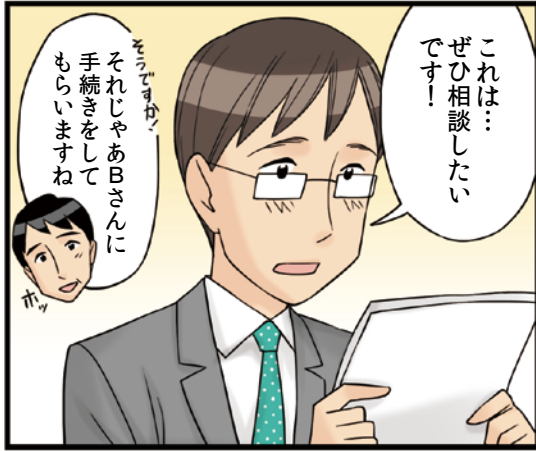
ーでしたら  
Cさんに

産業保健総合  
支援センターの  
個別調整支援事業を  
紹介してみるの  
はどうでしょうか？

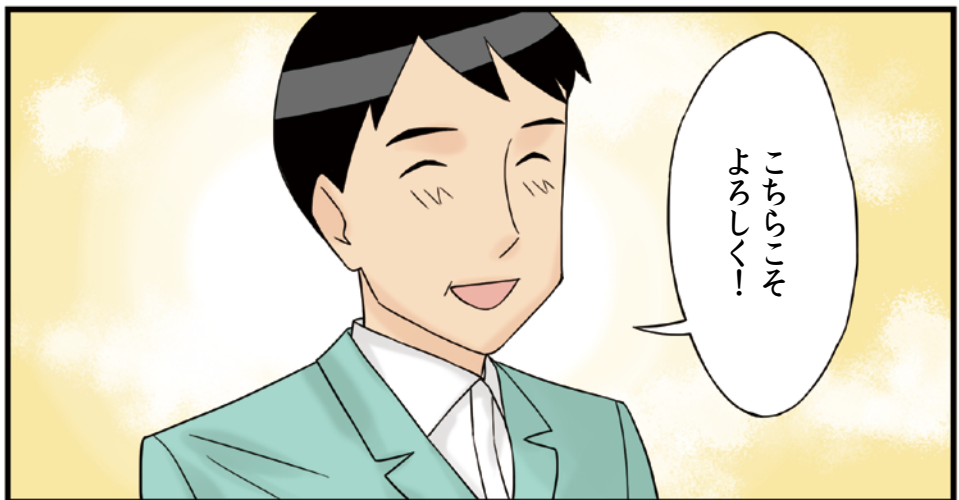
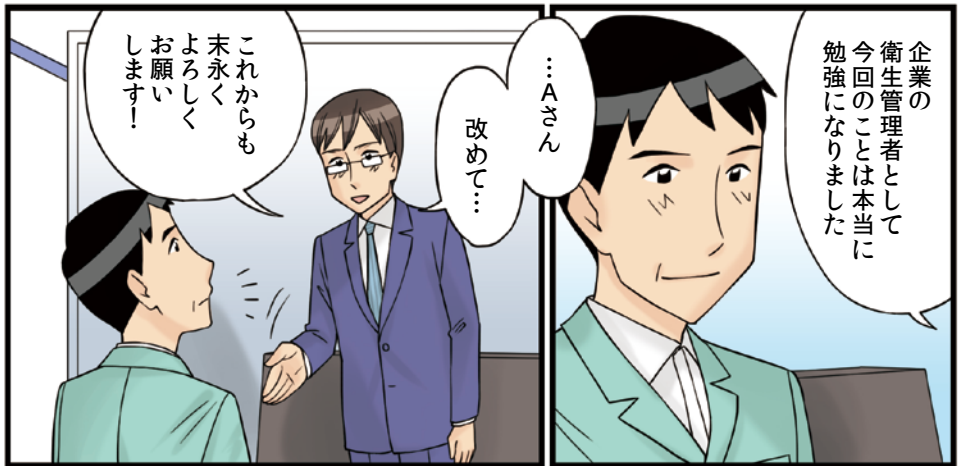
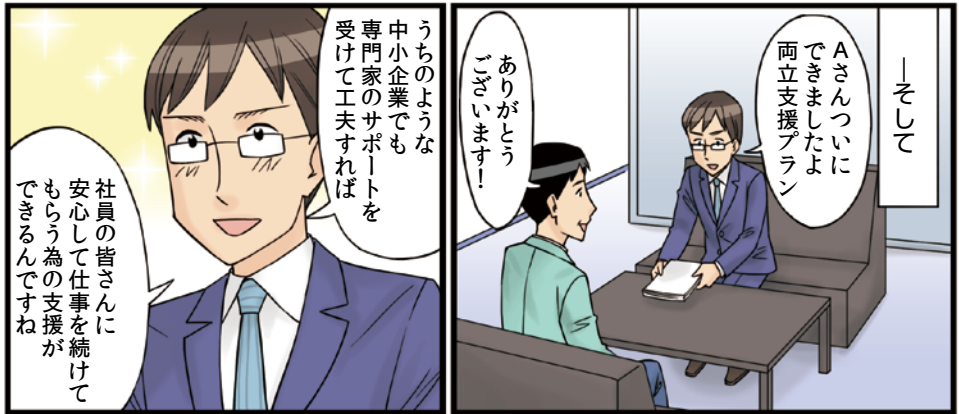
企業の産業医や  
Cさんのような  
衛生管理担当者の  
支援や研修を行っている  
機関です  
資料用意します\*

それは  
いいですね  
Cさんに  
伝えてみます

ありがとうございます







## 産業保健総合支援センター

全国47都道府県に設置されていて、職場の健康管理への啓発を行っています。治療と仕事の両立支援については、個別訪問支援、事業者啓発セミナー、個別調整支援、窓口での相談対応を行っています。

### ●個別訪問支援とは

これから両立支援に取り組む企業等の依頼を受けて、両立支援促進員（社会保険労務士、医療ソーシャルワーカー、保健師等の専門家）が事業場を訪問し、治療と職業生活の両立支援に関する制度導入の支援や管理監督者、社員等を対象とした意識啓発を図る教育を実施します。

### ●個別調整支援とは

両立支援促進員が、事業場に出向いて個別の患者（社員）に係る健康管理について、事業者と患者（社員）の間の仕事と治療の両立に関する調整支援を行い、両立支援プラン・職場復帰支援プランの作成を助言、支援します。この支援は、患者（社員）又は患者（社員）から主治医の意見書が提出された企業担当者や産業保健スタッフ等からの申出により実施します。支援の実施に当たっては、ご本人の同意が必要になります。

## 両立支援促進員

両立支援に取り組む事業場の支援を行うために、各産業保健総合支援センターに配置されています。看護師、保健師、社会保険労務士、キャリアコンサルタントなど、色々な専門性を持っています。

## 両立支援プラン

事業者は、労働者が治療をしながら就業の継続が可能であると判断した場合、業務によって疾病が増悪することがないように就業上の措置等を決定し、実施する必要がありますが、その際必要に応じて、具体的な措置や配慮の内容及びスケジュール等についてまとめた計画のことです。

# 漫画に登場する主な用語集

## パーキンソン病

パーキンソン病は、脳の異常のために、体の動きに障害があらわれる病気です。現在、日本には約15万人の患者さんがいるといわれています。高齢者に多くみられる病気ですが、若い人でも発症することがあります。何年もかけてゆっくりと進行するのが特徴です。動作が遅くなったり、手足が震えたり、バランスが取れなくなったりします。

## 医療ソーシャルワーカー

社会福祉の立場から患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行います。医療機関の医療相談窓口に在籍して、患者さんからの相談対応をしていることが多いです。具体的には、

- |                            |                |
|----------------------------|----------------|
| ①療養中の心理的・社会的問題の<br>解決、調整援助 | ④受診・受療援助       |
| ②退院援助                      | ⑤経済的問題の解決、調整援助 |
| ③社会復帰援助                    | ⑥地域活動          |

を行っています。これらの活動の中に、就労支援も含まれています。

## 就労に関する意見書

本人の求めに応じて、主治医から事業者に対して提供される両立支援の検討に必要な情報が記載された書類のことです。両立支援の検討に必要な情報として、事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインには下記の情報が記載されています。

### ア 症状、治療の状況

- ・現在の症状
- ・入院や通院治療の必要性とその期間
- ・治療の内容、スケジュール
- ・通勤や業務遂行に影響を及ぼしうる症状や副作用の有無とその内容

### イ 退院後又は通院治療中の就業継続の可否に関する意見

### ウ 望ましい就業上の措置に関する意見

(避けるべき作業、時間外労働の可否、出張の可否等)

### エ その他配慮が必要な事項に関する意見

(通院時間の確保や休憩場所の確保等)

研究班HP:

<http://www.med.kitasato-u.ac.jp/~publichealth/bs/result.html>

マニュアルはこちらのHPからダウンロードできます。

治療と仕事の両立支援について研究班の成果を掲載しています。



責任編集

江口尚(北里大学医学部公衆衛生学)

発行：2018年3月

デザイン・印刷：第一資料印刷株式会社